

令和7年度長久手市まち・ひと・しごと

創生総合戦略推進会議 議事要旨

議 事 要 旨	
会議の名称	令和7年度長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
開催日時	令和8年2月4日(水) 午後2時から午後4時まで
開催場所	長久手市清掃センター「ながくてエコハウス」多目的室
出席者氏名 (敬称略)	(委員) 岡崎 博子 田中 直子 稲森 正人 井上 敬之 笠原 小夜 川本 達志 落合 衣里 中村 弘佳 奥田 隆史 山内 将 (事務局) 市長公室長、市長公室次長、企画政策課長、同課長補佐、企画調整係長、同主任
欠席者氏名(敬称略)	福岡 雅美
傍聴者人数	0人
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	(1) 第2期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について (2) 第3期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略に新たに追加する事業について (3) 地方創生に関する交付金を活用した事業について
問 合 先	長久手市市長公室企画政策課 0561 - 56 - 0600

はじめに

○市長公室長あいさつ

○長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員の委嘱について

【委員を委嘱】

【各委員自己紹介】

○座長の選任について

【設置要綱に基づき座長を互選、座長より職務代理を指名】

座長 中村弘佳委員、職務代理 奥田隆史委員に決定

○議事

議題1 第2期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について

【資料1に沿って、事務局より一括して説明】

委員による意見は下記のとおり。

委員

基本目標1の「地域で「たつせがある」と思う人の割合」、基本目標3の「地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合」の2つの数値目標における目標値が高いと感じるが、背景として高くなる要素があったのか。

事務局

基本目標1「地域で「たつせがある」と思う人の割合」は、地域に役割や居場所があるかという趣旨で設定した。また、基本目標3「地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合」は、単に行事に参加するのではなく「スタッフ」として参加した割合としている。いずれも、前市長が特に推進を強化していた「市民主体のまちづくり」や「地域に参加する」という色合いが濃く出ている基本目標であり、市として強く押し進めていくという意図で設定したものである。

座長

実績値や参考値の数値根拠は何か。

事務局

本戦略に関する設問は、各課が個別計画策定時に実施している、市民を対象とした無作為抽出アンケートに盛り込んでいる。本資料の数値は、その回答結果を基に集計したものである。

具体的には、令和5年度は地域公共交通計画及び地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定時に実施した2件のアンケート結果、令和6年度は田園バレー基本計画のアンケート結果が算出根拠である。

座長

令和6年度は回答数が得られず、参考値となったところが反省点ということか。

事務局

令和6年度は、田園バレー基本計画にかかるアンケートと、本戦略に関する設問が盛り込まれた住みやすさ等に関するアンケートの2本だてで行った。本戦略に関する設問が盛

り込まれたアンケートは、田園バレー基本計画にQRコードを添付し別途回答する方式にしたため、回答が少なかつたと考えており、アンケート実施方法も反省点であると考えている。

委員

基本目標1の8番「住民起業支援塾事業」について、令和3年より商工会に移管されており、令和3年度以降の実績値は資料にないため参考に報告する。

事業概要に記載されている「コミュニティビジネス」に特化するものではないが、起業の相談件数としては、令和5年度が19件、令和6年度が26件、令和7年度は9月までで46件あった。今年度は月8回程度相談があるが、相談を受けても、家賃が高い等の理由で結果的に他市町で開業される方が多いのも現状である。

市から移管されたことで、新しく起業したい30代40代の方からの相談が増えていると感じているため、この機会をしっかりと繋げていきたいし、行政にも目を向けてもらいたい。

委員

基本目標4の29番「リノテラス公益施設管理事業」の目標値のカウントの仕方はどのようなか。リノテラスに一度に入れる定員数には限界があるため、この目標設定は現実的ではないと考えるがどうか。

事務局

イベント実施時の参加者数もカウントしている。また、第3期総合戦略にはこの指標は設定していない。

議題2 第3期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略に新たに追加する事業について 【資料2-1、資料2-2、資料2-3に沿って、事務局より一括して説明】

委員による意見は下記のとおり。

委員

基本目標1「地域・しごとづくり」が、前市長が推進していたリタイアした方が活躍できるという趣旨の「しごと」であり、他の自治体が掲げる経済活動としての「しごと」ではないと感じるが、市の考え方はどうか。

また、本市は大企業が1社しかなく、中小企業ではなく、小規模事業者が1,100社くらいあり大部分を占めている。また、そのうち商業が7割近くを占めているということ、また市が洞小学校区は飲食店が多いが、店舗の入れ替わりが頻繁に見られる状況にあるということも特徴といえる。そのため、本目標1ウ「地域のチカラを活かしたしごとづくり」に中小企業等支援事業とあるが、小規模事業者の支援も文言に入れて欲しい。

事務局

中小企業等支援事業の事業内容としては、本戦略P.11にあるとおり、「市商工会等との連携や支援を通して市内中小企業及び小規模事業者のサポート体制を構築します。」としている。第2期から経済活動としての「しごと」の部分を強化していくということで追加しており、商工担当課とも連携しながら取り組んでいきたい。

座長

2点質問する。

1点目として、なぜ2事業を追加をしていきたいのか。

2点目は、「動物との共存による安心・快適な地域づくり事業」のKPIとなっている「飼い主のいない猫避妊・去勢手術費補助金交付件数」は、基準値より目標値の方が低くなっているのはなぜか。

事務局

1点目について、説明のとおり企業版ふるさと納税の申し出が今回の事業追加に寄与しているためである。両事業ともに、本戦略の趣旨に合致しており、実際に企業の方から、同事業に企業版ふるさと納税で寄附をしたいという申出をいただいたものである。「主な事業」に記載が無い事業のため、事業が紐づいていることを明確にすることを目的に、「主な事業」に追加するものである。

2点目について、本事業は、地域猫と人との共生を目的として実施しているものであり、最終的には手術を要しない状況の実現を目指している。そのため、3年間の継続的な取組により減少が進むことを見込み、措置件数を段階的に減少させる目標値として設定している。

委員

資料2-3の中、企業版ふるさと納税の対象外となる地方自治体が記載されている。本市は不交付団体であるが、対象となるのか。

事務局

本市は不交付団体ではあるが、「三大都市圏の既成市街地等に所在する市町村」に当てはまらないため、対象となる。

委員

令和6年度に寄附を活用した事業が「子育て支援」となるのかが疑問である。

事務局

今回活用した事業がハード事業に関するものであり、子育て支援のソフト事業にも活用してはどうかという趣旨で質問を理解させてもらった。本戦略においても、ソフト事業を様々列挙しているため、それに活用させていただくことは可能である。しかし、寄附をいただいたタイミングで速やかに事業化できるものが、ハード事業であったこと、また寄付者のご意向により、令和6年度については活用したものである。

委員

寄付企業から、改修の要望があり活用するということか。

事務局

そこまで限定的な要望による寄附ではないが、寄附をいただくタイミングも大きいところである。企業版ふるさと納税の制度としては、基金に積立て、次年度以降に活用することもできるが、当該年度中に活用することが理想とされている。いただいたご寄付を速やかに事業化し、見える形で成果として出ささせていただきたいという思いがあるため、タイミングが影響しているところもある。

委員

「脱炭素化に向けた取組」について、電気自動車在全国的にも普及してきたなか、本市ではEV自動車の充電スタンドが少ない。市民がEV自動車に乗り換えて行く場合、追いつか

ないのではというところが心配である。

一方、高齢者は免許返納があるなかで、リニモの値上げがあることや、リニモの沿線は移動しやすいが、特に東の方はインフラ整備が足りていないと感じている。

脱炭素の観点から、移動手段が車である人がほとんどのなか、マイカーを控えてくださいということは難しいと感じている。公園や商業施設等へ市外からも多くの方が本市を訪れるが、そのほとんども車での来訪であり、市民も渋滞に悩まされている。そのため、パークアンドライドのような取組が有効ではないか。渋滞がネックになってしまうと、観光事業にも影響すると考えている。

座長

環境配慮行動促進事業の具体的な事業内容は。

事務局

市民一人ひとりの積極的な環境行動を支援するものである。具体的にいうと、日常生活での節電やマイカー削減などのエコ活動に挑戦し、ポイント獲得や達成に応じて環境に良い賞品が贈られる仕組みである。また、太陽光発電設備共同購入事業も環境課で実施しており、引き続き市民の方が気軽に参加できる取組を支援していく。

座長

市民に分かりやすく今後もPRしていくことが必要である。

(全員 異議なし)

議題3 地方創生に関する交付金を活用した事業について

【資料3に沿って、事務局より一括して説明】

委員による意見は下記のとおり。

委員

田園バレー交流施設めぐりん村再整備事業について、めぐりん村の売り場面積を増築したことは、売り上げ増加にも繋がったのか。

事務局

陳列できる品数が増え、売り上げ増加にも繋がったと聞いている。

委員

地域資源を活用したラーケーション推進による市内事業者活性化事業について、体験プログラムについては、市民の参加もカウントしているのか。市民も参加することで、基本目標4の指標としている「住み続けたいと思う市民の割合」にも繋がるのではないか。

事務局

市内の参加者も多数いた。本事業は、市外からの誘客を図る観光の側面もあるが、市民の皆様に参加いただくことにより、市内店舗への愛着の醸成や、市内で子どもに多様な体験を提供できることへの満足度の向上にも繋がるものと期待している。

委員

地域資源を活用したラーケーション推進による市内事業者活性化事業のKPIである地域における観光消費額の算出根拠は。

本市にはジブリパークがあるため、観光消費額はもっと大きいのではないかと。観光で真面目にやっていくのであれば、的確な数字が必要ではないかと。県の単価を単に使うのではなく、名古屋城や名古屋港水族館などの単価の方が実際の数字に近づくのではないかと。

事務局

市内の観光入込客数に県の宿泊・日帰りの平均単価をかけて算出している。個別に平均単価を算出している自治体もあるが、本市は算出をしていないため、県の平均単価を使用している。

座長

来年度も本会議で検証をしていくため、KPI の算出方法を再度確認してほしい。

委員

地域資源を活用したラーケーション推進による市内事業者活性化事業について、経費内訳はどのようなか。令和6年度は準備期間ということであったが、実際に体験プログラムを造成した事業者に補助金を支払うべきではないのか。

事務局

令和6年度は、観光の活性化を図る戦略策定の基礎調査にかかる委託費また市内事業者への呼びかけやアドバイスを行うための人件費である。令和7年度は、中小企業者等支援補助金に新メニューとして「体験型商品掲載料支援」を創設しており、OTA サイト等での掲載料の補助を行うものを事業費として計上している。

委員

令和6年度は準備期間で、こういった需要があるのか等の事業者への聞きとりなど土台作りを主に行ってきた。また、今年度は、募集をかける時のHP や SNS の作成、市内へのチラシ配布や「あいちの魅力発見隊」より県内に17万枚チラシを配布したこともあり、プログラム定員84名のところ240名が参加した。今回は参加しなかった事業者からも、次回に参加したいという声ももらっている。

今回初めての取組であるが、今後も、事業者が継続できる、損しなく儲けていける仕組みづくりを構築し、「ラーケーションのまち」を根付かせていきたい。

委員

交付金の事業計画期間が令和8年度となっているが、事業としては継続して実施するということか。

委員

観光交流協会としても継続していきたいと考えている。

委員

基本目標1、3にも寄与するいい取り組みであり、子を持つ親としても継続していただきたい。

その他

委員

本市の地域特性を踏まえると、大企業誘致を進めるというよりも、市の魅力を高め、それを市外へしっかり発信していくことが重要であると考えます。

委員

市が洞小学校区は、若い地域であるし店舗がいっぱいあり「住みやすさランキング」にも寄与しているといえる。しかし、店舗の入れ替わりが頻繁に見られ、原因は地価の高騰であると考え。入れ替わりが多いと、その場所の雰囲気も変わってしまう。

また、市が洞小学校区には、様々な大企業に勤めている方が多くいるため、そういったことを活かせるとよい。市の根本的な問題を解決していきたい。

委員

昨年度より会議に参加し感じているのが、行政や一部の人だけで、市の課題を解決するのは難しいということである。市民が興味や愛着をもつことが大切であり、横のつながりを作っていくことが必要である。地域活性化事業に活用できる助成金もあるため、市民活動等に有効に活用していただければよい。

委員

ふるさと納税の流出に危機感を抱えており、行政も受け身ではなく積極的に動いてほしい。

事務局

財政的に厳しい状況であることは認識しており、市財政全般を圧迫している部分もあるため、令和6年度は事業総点検を実施し、約4億円の事業費の削減をした。

また、来年度の4月から企画政策課内に行政マーケティング推進室を設置し、「稼ぐ」ことについて積極的に推進していきたいと考えている。

ふるさと納税については、先ほどからの話のとおり、本市は小規模小売事業者が多く大きな工場があるわけではないが、観光交流協会や商工会と協力しながら、「長久手らしさ」がある返礼品を作っていけたらよいと考えている。